

Labo News

らぼニュース

発行所 社団法人愛知県臨床衛生検査技師会
住 所 名古屋市中村区名駅5-16-17
花車ビル南館 〒450-0002
電 話 052-581-1013
F A X 052-586-5680
ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
普通口座731-677
発行人 松本 祐之
編集人 堀 隆彦

No.365 目次

- ◆公益社団法人愛知県臨床検査技師会
定款(案)の訂正について……………(2)
- ◆尾張西地区だより……………(3)
- ◆平成24年度学術部門企画
新人教育(サポート)研修会報告……………(4)
- ◆新人教育(サポート)研修会に参加して…(4)
- ◆「世界禁煙デー」キャンペーン活動に参加して…(5)
- ◆第35回愛臨技スポーツ大会開催のお知らせ…(6)
- ◆第43回
愛知県糖尿病療養指導研究会学術講演会…(7)
- ◆愛臨技生涯教育認定登録団体研究会のご案内…(7)
- ◆基礎講座……………(8)
- ◆研究会……………(9)
- ◆AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
通信(第11回)……………(10)

公益社団法人としての公益事業活動

副会長 中井 規隆

平成25年4月に当会は公益法人格を取得し、「公益社団法人 愛知県臨床検査技師会」として登記できるように準備をしています。公益目的事業として ①精度の高い臨床検査を提供するための専門的知識・技能の普及や人材の育成を行う事業 ②医療関連施設への臨床検査精度向上の推進及び支援に関する事業 ③県民の健康増進と衛生思想に関する普及啓発を行う事業 ④その他この法人の目的を達するために必要な事業 を掲げております。③の事業が渉外部門の担当で、組織部が中心となり活動してゆきます。具体的には、海岸清掃ボランティア、地区及び関連団体の健康フェア、HIV抗体検査ボランティア、世界禁煙デー街頭啓発キャンペーン、世界エイズデー関連のイベント、ピンクリボン運動等多くの公益性のある事業に参画および展開してきています。特に平成19年から参画している名古屋市主催のHIV抗体検査ボランティアにおきましては、栄ナディアパークにて年間を通じて旧免疫血清検査研究班の班員が中心となり、地区から選出された会員と共にHIV抗体検査を実施しています。検査はイムノクロマト法で行いますが、擬陽性や陽性が出た場合はその場でPA法を行い、後日PCR法にて確認をしています。またHIV検査という性格上、受検者とは接することがないようにするなど配慮もされており、参加スタッフの使命感に支えられた事業であることに常に頭の下がる思いです。この事業が継続されていることは、愛臨技として誇りに思っています。

また、公益法人取得と同時期に現在運用している愛臨技ホームページのリニューアルを広報部、ホームページ運営委員会を中心に検討しています。広く県民に臨床検査技師とは何かをPRできるようなページの作成や、愛臨技の事業活動、会計状況、各研究班活動等をよりわかりやすく伝える事を目的とし、また会員のみならずが利用しやすく、親しみやすいホームページにしたいと考えています。是非この機会に皆様のご要望をメール等でお寄せいただき、新しいホームページに反映させて行きたいと考えています。

今後も公益事業活動参画にご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

公益社団法人愛知県臨床検査技師会定款(案)の訂正について

会長 松本 祐之

標記につきまして、現在、公益社団法人への移行にむけ、愛知県生活衛生課と申請書類等の確認作業を進めているところです。このたび、平成24年8月25日に開催します臨時総会では、「公益社団法人愛知県臨床検査技師会定款(案)」(以下「定款(案)」という。)をご審議いただくことになっております。会員の皆様には、議案書にて定款(案)をご提案申し上げておりますが、県の指導により下記にて一部訂正することになりました(7月4日の理事会にて承認)。提案後の訂正ということで大変申し訳ございませんがよろしくお願い申し上げます。尚、訂正しました定款(案)の全文をホームページにて掲載しております。

定款案訂正

議案書定款案	修正案
(会員の資格喪失) 第11条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。 (1) 催告の期限を超過して会費の支払義務を履行しなかったとき。 (2) 総正会員が同意したとき。 (3) 当該会員が死亡し、若しくは失踪宣告を受けた場合、又は解散したとき。 (権限) 第13条 総会は、次の事項について決議する。 (1) 会員の除名 (2) 理事及び監事の選任又は解任 (3) 理事及び監事の報酬等の額 (4) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)並びにこれらの附属明細書の承認 (5) 定款の変更 (6) 解散及び残余財産の処分 (7) 不可欠特定財産の処分の承認 (8) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項 (役員任期) 第28条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。 2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。 4 理事又は監事は、第22条の定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事として権利義務を有する。 (事業報告及び決算) 第39条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時総会に提出し、<u>第1号及び第2号の書類についてはその内容を報告し、第3号から第6号までの書類については承認を受けなければならない。</u> (1) 事業報告 (2) 事業報告の附属明細書 (3) 貸借対照表 (4) 損益計算書(正味財産増減計算書) (5) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書 (6) 財産目録 2 前項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。 (1) 監査報告 (2) 理事及び監事の名簿 (3) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類 (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類	(会員の資格喪失) 第11条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。 (1) 催告の期限を超過して会費の支払義務を履行しなかったとき。<u>なお、催告の期限は別に定める。</u> (2) 総正会員が同意したとき。 (3) 当該会員が死亡し、若しくは失踪宣告を受けた場合、又は解散したとき。 (権限) 第13条 総会は、次の事項について決議する。 (1) 会員の除名 (2) 理事及び監事の選任又は解任 (3) 理事及び監事の報酬等の額 (4) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)並びに<u>財産目録の承認</u> (5) 定款の変更 (6) 解散及び残余財産の処分 (7) 不可欠特定財産の処分の承認 (8) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項 (役員任期) 第28条 理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。 2 削除 2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。 3 理事又は監事は、第22条の定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事として権利義務を有する。 (事業報告及び決算) 第39条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。 (1) 事業報告 (2) 事業報告の附属明細書 (3) 貸借対照表 (4) 損益計算書(正味財産増減計算書) (5) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書 (6) 財産目録 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類について定時総会に提出し、<u>第1号の書類はその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。</u> 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。 (1) 監査報告 (2) 理事及び監事の名簿 (3) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類 (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

尾張西地区だより

津島市民病院 横井 宏美

濃尾平野の西部に位置する津島市は、織田・豊臣・徳川とも縁のある津島神社の門前町として繁栄してきました。歴史的な文化財や古い町並みも多く残っています。自然も多く、木曽川の支流であった天王川が丸池として残っており、春の桜をはじめ四季折々の風景を楽しめる公園となっています。

この天王川公園で有名なのが、藤まつりと天王祭。ご存知の方も多いのではないのでしょうか？今回はこの2つのお祭りを紹介したいと思います。

まず、藤まつり。4月下旬～5月上旬に行われ、藤棚（長さ275m、面積5034㎡！）に12種類の藤が咲き、甘～い香りに包まれます。会場ではイベントも多数催され、わが津島市民病院の臨床検査室も「健康チェック・血管年齢測定」として毎年参加させていただいています。

夜にはライトアップもされて、藤棚の下を流れる疎水に映る紫色がより幻想的に楽しめます。



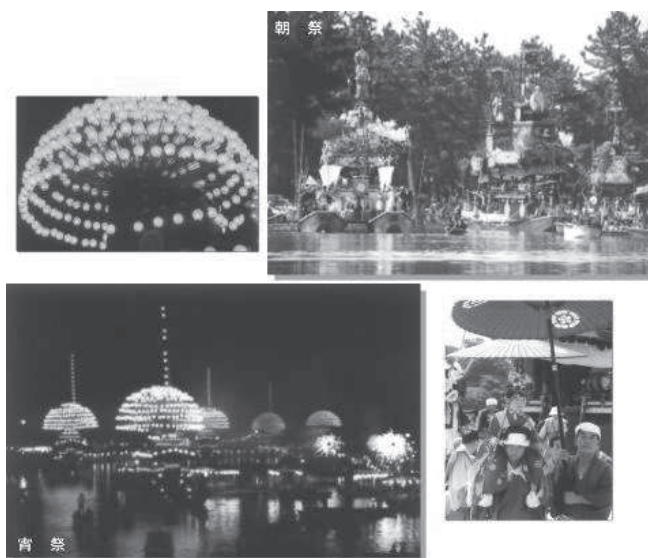
そして、500年以上の歴史を持つ天王祭。「日本三大川まつり」のひとつであり、国の重要無形民族文化財にも指定されています。織田信長も見物していたそうで、2010年には名古屋おもてなし武将隊も水上舞台に登場しました。

毎年7月の第4土曜日の夜に「宵祭」、翌日曜日の朝に「朝祭」が行われます。宵祭では、5隻のまきわら船が津島笛を奏でながら悠々と天王川を漕ぎ渡るのですが、まきわら船には、屋台の上に半円・山型に365個（1年の日数）、さらに中央の高い真柱

に12個（1年の月数）の提灯が灯されています。飾りの提灯も合わせると、1隻あたり約550個、5隻で約2750個！揺らめく提灯が川面に映る様はなんとも荘厳です。打ち上げ花火も彩りを添え、毎年とても賑わっています。

朝祭では、まきわら船が飾り付けを一変して能の置物を乗せ、古楽を奏でながら進みます。布鉾を持った10人の鉾持が船から池に飛び込み、泳いで参拝し、さらに津島神社まで走って鉾を奉納します（ハードですね…）。続いて稚児が神社まで神輿とともに練り歩き、最後に神前奏楽で祭は幕を閉じます。

メインの宵祭のほう出人出も多く有名ですが、朝祭もなかなか見応えがあってお勧めです。



どちらも今年はもう終わってしまいましたが、また来年、ぜひ足を運んでみてくださいね。

最後に地区活動から、尾張西地区勉強会の案内をいたします。9月14日(金) 19時から、名鉄病院2号館2階会議室において「医療安全の推進」と題して、矢島照大先生（愛知県赤十字血液センター・学術課）と戸谷ゆかり先生（厚生連海南病院・医療安全対策室室長）にご講演いただきます。多数のご参加をお待ちしています。

平成24年度学術部門企画

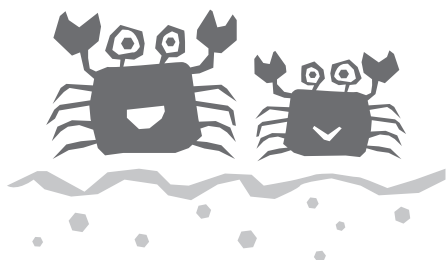
新人教育(サポート)研修会報告

学術部長 中根 生弥

平成24年度学術部検査研究班合同企画による新人教育(サポート)研修会Ⅰ・Ⅱが、6月30日(土)から7月1日(日)愛知医科大学たちばなホールにて開催された。参加者は2日間で453名(18日:210名、19日:243名)であり、参加内訳は会員342名、新人95名、賛助会員12名、学生4名であった。今年で4回目の企画であったが、毎年450名以上の参加があり企画の定着化が認められてきた研修会と感じた。

研修会は2日間に渡り5検査研究班から緊急検査にポイントを置いた参加型の講演が行われ、参加者全員に「赤と青」カードを配布して講演内容に関するクイズを実施するなど新たな企画を盛り込んだ。更に講演終了後に担当研究班班員をステージに整列させ、研究班の活動紹介や班員募集をするなど各研究班のアピール時間もあり、より一層の会場一体感を感じることであった研修会となった。

その後『医療従事者の接遇基礎「ホスピタリティマインドを伝えるパフォーマンス(表現)を身につけていただくために』』について、佐藤三佳氏(株式会社アイデム)に新人医療従事者としての心構えから患者との対応などについて講演いただいた。また昼食の時間帯を利用し、オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社より「C型肝炎の歴史と最新の知見について」とシスメックス・バイオメリュー株式会社より「微生物同定における技術変遷について」共催事業としてランチョンセミナーを開催した。また中根学術部長と所組織部長より、愛臨技の活動を広く知っていただく目的で、愛臨技の組織紹介と活動内容をプログラムに組み込み、学術活動やボランティア活動への参加を促すことができ、参加された皆さんが明日からの日常業務に生かしていただけることを期待します。



新人教育(サポート)研修会に参加して

豊田厚生病院 臨床検査技術科
米山万里子(新人)

2日間にわたって開催された新人教育(サポート)研修会に参加して、基礎的な事から始まり、データの見方、注意点など様々な事を勉強することが出来ました。各講義の後には、クイズ形式で問題が出されたため、とても記憶に残りました。研修会で学んだ基礎を忘れず、これからたくさんの経験を積み知識のある検査技師を目指したいです。

また、普段あまり学ぶ機会のない「医療従事者の接遇基礎」についても講義をしていただき、態度、動作、目線等細かな事から学ぶことができ、医療従事者として心掛けるべき事が身に付きました。今後、患者様と接する際には学んだことを生かして、快い接遇をしていきたいです。





「世界禁煙デー」キャンペーン活動に参加して

大同病院 牛田 展浩

5月31日(木) 名駅ナナちゃん人形前にて行われた「世界禁煙デー」キャンペーン活動に参加しました。

毎年の恒例行事のようにになっていますが、5月31日の世界禁煙デーに合わせたイベントの為、平日の昼間(昨年は金山駅で朝の通勤時間帯だったそうです)に行われており、「忙しい技師会員の皆さんにとってなかなか参加が難しいのでは」と思っていたのですが、愛臨技として7名の参加者があり、他にも主催の愛知県健康福祉部を初め10もの団体から4、50名が集まって、かなり盛況でした。

さて、正午から禁煙を呼びかけつつ愛臨技で用意

した啓発グッズ(脂取り紙)を配りました。背中に「愛知県臨床検査技師会」とネームが大きく入っている黄色で目立つジャンパーを羽織っている為ちょっと照れくさいような感じがしましたが、少しは臨床検査技師の認知度アップにも貢献できているかなと思いつつ配っていると、あらかじめ用意した500個の啓発グッズはあっという間に無くなり、最近の受動喫煙などの健康被害に対する関心の高さが感じられました。

皆さんの周りの喫煙対策はどうでしょうか。自分自身にとっても改めて考えさせられる1日でした。



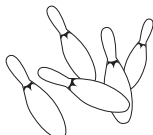
第35回愛臨技スポーツ大会開催のお知らせ

組織部

今年度もスポーツ大会（ボウリング大会）を開催いたします。大会は例年通り地区チーム、研究班チーム、賛助会員チームでの競技を考えております。チーム編成については下記を参照ください。

その後の懇親会への参加もお願いいたします。

★ボウリング大会



日時：平成24年9月29日（土）
15：00～17：30（表彰式を含む）
場所：スポーツ名古屋
〒460-0007 名古屋市中区栄2-45-26
電話：052-261-3111
参加費：1000円（2ゲーム代・飲物代・靴代・賞品代含む）
チーム編成：各地区、学術部研究班、賛助会員各5名以上（女性2名以上を含む）
参加申込方法：施設に配布しました参加申し込み票に記載の上、施設連絡者を通じて各地区理事へお申込みください。学術部については各班長が取りまとめください。
締切日：平成24年9月7日（金）
大会要綱：ゲーム数は1名2ゲーム
＜団体戦＞各地区、学術部研究班、賛助会員の上位5名（男性3名・女性2名）だけの合計点数

＜個人戦＞2ゲームの合計点数（男女別）

賞品：団体戦 上位3チーム
個人戦 男女各上位3名・飛び賞・ブービー賞などの賞品

★懇親会

日時：平成24年9月29日（土）18：00～19：30まで
場所：サッポロビール名古屋ビール園 浩養園
2階 レストラン
（元サッポロビール隣）
〒464-0858 名古屋市中区千種2-24-10
電話：052-741-0211

参加費：3500円

参加申込方法：ボウリング大会同様

締切日：ボウリング大会同様

＊懇親会へのみの参加もOKです。ぜひご参加ください。

問い合わせ先：愛臨技 組織部 所 嘉朗
愛知県がんセンター中央病院 臨床検査部
電話：052-762-6111（PHS 6121）
ファックス：052-757-4810
E-mail：ytokoro*aichi-cc.jp
（入力時には*を@に変更してください）



平成24年7月10日現在 会員数2,676名

※求人情報、理事会・常務理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務所へお問合せください。

第43回 愛知県糖尿病療養指導研究会 学術講演会

テーマ：糖尿病腎症まるごと！－基礎～療養指導－
日時：平成24年9月2日(日) 13:00～16:25
場所：名古屋大学医学部附属病院 3階講堂
講演：「糖尿病腎症の基礎」

刈谷豊田総合病院 腎臓内科部長
小山 勝志

講演：「糖尿病腎症の療養指導」

1. 検査値から腎症を伝える
春日井市民病院 臨床検査技師
後藤 真一
2. 食事療法のポイント
名古屋市立大学病院 管理栄養士
寺西 絵美
3. 運動指導の注意点
済衆館病院 理学療法士
瀧野 皓哉
4. 腎症とくすり
名古屋第一赤十字病院 薬剤部
野村 浩夫
5. 生活指導のポイント
刈谷豊田総合病院 看護師

司会：岡崎市民病院 石本香好子
夏目久美子

★本講演会は、「日本糖尿病療養指導士
認定更新のための研修会」として第1
群1単位、第2群1単位が認定予定で
す。どちらかを選択してください。

参加費：愛知県糖尿病療養指導研究会会員無料、
その他参加者1,000円

愛臨技生涯教育認定登録団体 研究会のご案内

【東海地区分析研究会講演会】

専門教科：20点

日時：平成24年9月28日(金) 18:30～20:30

場所：名古屋マリOTTアソシアホテル16階

会費：¥500 (会場費として当日受付にて)

講演Ⅰ：「動脈硬化性疾患予防ガイドライン改定
について」

協和メデックス株式会社
本社営業支援部生化学G

西岡 達央 先生

講演Ⅱ：「体（細胞）を温めるとなぜ大腸菌もレ
タスもヒトも元気になるのか？」

－その正体はヒートショックプロテイン
(HSP)

修文大学健康栄養学部管理栄養学科

伊藤 要子 先生

司会：鈴鹿医療科学大学 森下 芳孝 先生

内容：講演Ⅰでは改定された「動脈硬化性疾患
予防ガイドライン」について、特に脂質
成分の取り扱いの最新情報を講演してい
たいただきます。

講演Ⅱではこれまであまり馴染みのない
「ヒートショックプロテイン (HSP)」が
実は生命活動の必須の働きを持ち、それ
を積極的に発現させることが様々な効果
を生むことを、その第一人者である伊藤
要子先生に講演していただきます。

共催：東海地区分析研究会協和メデックス株式会社



基礎講座

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点

日時：平成24年10月7日(日) 10:00～16:00

場所：名古屋第二赤十字病院
3病棟1階 研修ホール

テーマ：肝疾患と臨床検査

講師：1.「肝機能検査の基礎」

刈谷豊田総合病院 大島 彩

2.「アンモニアの測定意義と安定性」

社会保険中京病院 片山 舞

3.「肝炎ウイルスの検査の進め方」

愛知医科大学病院 坂梨 大輔

4.「オカルトHBVの実態について」

アボットジャパン株式会社

中島 俊彦

5.「肝疾患の診断と治療について」

名古屋市立大学大学院医学研究科

野尻 俊輔

司会：半田市医師会健康管理センター

前川 明紀

厚生連江南厚生病院 林 克彦

内容：肝関連検査の正しい解釈を身に付け、血液および画像所見など診断までのアプローチについて学びましょう。

定員：80名

参加費：1,000円

申込方法：①会員番号 ②氏名 ③施設名 ④所属
⑤連絡先（TEL、FAX）を記載のうえ、
Eメールアドレスにてお申込み下さい。

申込先：トヨタ記念病院 臨床検査科
和出 弘章 (h-w@hm10.aitai.ne.jp)
連絡先 0565-28-0100（代表）内線2714

申込期限：平成24年9月28日(金)

但し、定員になり次第締め切ります。

*申込の受領および詳細については、Eメールで連絡いたします。なお、昼食は各自でご用意下さい。

基礎講座

輸血検査研究班

専門教科：20点

日時：平成24年10月14日(日) 10:00～15:30

場所：名古屋市立大学病院
中央診療棟4階 第1会議室

テーマ：「輸血業務を見直そう！」

1) 輸血部門の役割

鈴鹿回生病院 松本 安代

2) 輸血検査における異常反応とその対応法

焼津市立総合病院 橋ヶ谷尚路

3) チャレンジ！－問題に挑戦－

特別講演 救急医療の現状

藤田保健衛生大学 地域救急医学
准教授 加納 秀記

ランチョンセミナー

オーソ・クリニカル・ダイアグノスティ
ックス株式会社

参加費：1,000円

持ち物：筆記用具、電卓

定員：70名

申込方法：下記の申込事項を申込先メールアドレス
にご連絡ください。

申込先：yuketu2012aichi@yahoo.co.jp

申込事項：①会員番号 ②氏名 ③かな氏名 ④施設名
⑤所属 ⑥郵便番号 ⑦施設住所
⑧TEL（内線）

連絡先：藤田保健衛生大学環境管理室
長谷川勝俊

TEL 0562-93-2534（直通）

申込期限：平成24年9月30日

但し、定員になり次第締め切ります。

※申込の受領は、Eメールで連絡いたします。1週間で受領メールが届かない際は、連絡先にご照会下さい。

※詳細および最新情報は、輸血班ホームページでご確認ください。

研究会

微生物検査研究班

専門教科：20点

日時：平成24年9月1日(土) 15:30～18:00

場所：名城病院 地下大会議室

テーマ①：今さら聞けないMICの基礎

～基礎から最新のCLSI基準まで～

講師：名古屋大学病院

望月 まりこ

テーマ②：冬季に流行するウイルス性下痢症

～基礎から感染対策まで～

講師：江南厚生病院

舟橋 恵二

テーマ③：なかなか聞けない質問コーナー

予め会員からの質問を受け付けます

質問受け付け用のアドレス

biseireikai0901@gmail.com

平成24年8月20日正午まで受け付けます

司会：江南厚生病院

中根 一匡

研究会

一般検査研究班

専門教科：20点

日時：9月8日(土) 15:30～17:30

場所：名古屋大学医学部 基礎医学研究棟 3F
第1講義室

テーマ：尿沈渣の基本②

講師：1) 上皮細胞の見方

藤田保健衛生大学病院 作石 敏明

2) 結晶の見方

(株)三菱化学メディエンス名古屋セントラル病院ラボ 山村 一志

3) 円柱の見方

社会医療法人宏潤会 大同病院

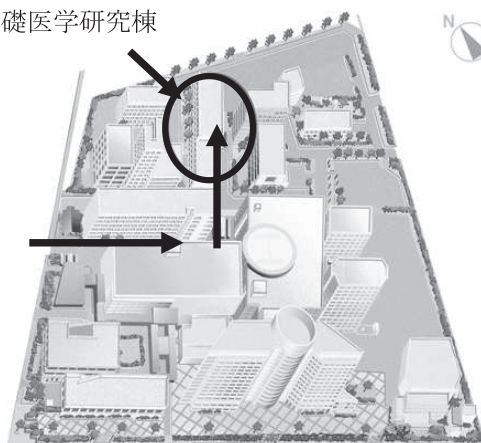
浅井 千春

司会：藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院

玉井 良枝

内容：2回シリーズで尿沈渣の基本を解説する企画の2回目です。上皮細胞、結晶、円柱の見方を尿沈渣検査法2010にそって、写真や症例を交えてお話します。初心者の方からベテランの方まで多数の方の参加をお待ちしております。

基礎医学研究棟



研究会

血液検査研究班

専門教科：20点

日時：平成24年9月8日(土) 15:00～17:00

場所：愛知医科大学 302講義室

テーマ：症例検討会

講師：名古屋第一赤十字病院

牧 俊哉

名鉄病院

赤座久美子

豊橋市民病院

近藤 由香

司会：刈谷豊田総合病院

藤原 妙

研究会

生理検査研究班

専門教科：20点

日時：平成24年9月15日(土) 15:00～17:00

場所：名古屋大学医学部 基礎研究棟第1講義室

テーマ：睡眠検査への携わり方

講演1：簡易呼吸モニター検査への各施設の工夫と解析方法

講師：総合大雄会病院

水内 早紀

小牧市民病院

加藤 美穂

藤田保健衛生大学病院

細田 奈末

講演2：PSG解析のピットホール

～簡易呼吸モニター解析の注意点を含めて～

講師：藤田保健衛生大学病院

藤田 志保

司会：小牧市民病院

田中 夏奈

AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

通信 (第11回)

愛知県臨床検査標準化協議会（Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS）は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

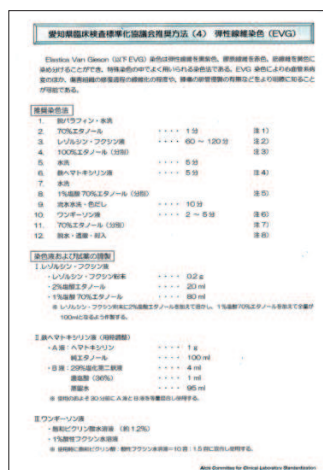
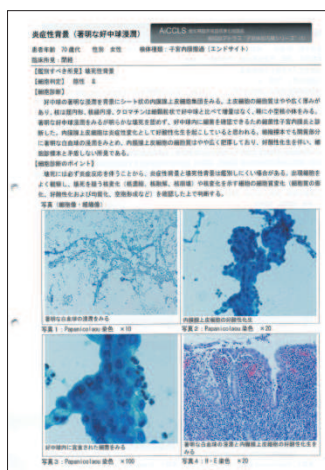
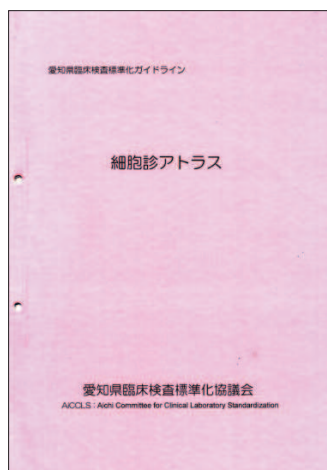
今回は、新しく発刊された刊行物についてご紹介いたします。

- ・リーフレット「検査の説明 喀痰検査」
- ・リーフレット「正しい検査結果を得る為の採血の注意点」
- ・リーフレット「愛知県臨床検査標準化協議会推奨方法（4）EVG染色」
- ・細胞診アトラス 子宮体部内膜シリーズ（1）から（12）

上記の4つの刊行物が発刊されました。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床衛生検査技師会HPの、臨床検査標準化情報をご覧ください。

（AiCCLS：愛知県臨床検査標準化協議会）



細胞診アトラス子宮体部内膜シリーズ（1）から（12）

EVG染色



検査の説明 喀痰検査

正しい検査結果を得る為の採血の注意点

（写真は各刊行物からの抜粋）